

下関市立大学附属リカレント教育センター
『しものせき地域 DX 人材育成リスクリングプログラム』

2026 年度 受講生募集要項

1. 履修証明プログラム募集概要

秋学期よりスタートする『しものせき地域 DX 人材育成リスクリングプログラム』の募集をします。

プログラム名	受講期間	募集 受講区分	募集 人数
しものせき地域 DX 人材育成リスクリングプログラム	2026年10月3日（土）～ 2027年3月13日（土） 毎週土曜日（11/22、12/20、 2/7、2/21、は日曜日） 〔 1 コマ目 9:30～11:00 〕 〔 2 コマ目 11:10～12:40 〕	履修生※1 （聴講生）	30名 程度 （最低開 講人数： 3名）

2. 履修資格

本プログラムの受講区分には、履修証明プログラムを履修することで履修証明書が交付される「履修生」と、それ以外の「聴講生」(履修証明証は交付されない)があります。

	履修生	聴講生（全聴講又は一部聴講）※2
資格	下記、履修資格を満たす方※1	高校生以上
修了要件	規定の履修証明プログラムを全て履修すること （60 時間以上必須）	—
修了証	履修証明書	必要な方のみ「受講証明書」

※1 履修生の履修資格

下関市立大学学則第 18 条の規定に準じて、本学の履修証明プログラムを履修することができる方

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した方
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した方（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した方を含む。）
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (6) 文部科学大臣の指定した方
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した方（同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した方を含む。）
- (8) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

※2 一部聴講とは、1 コマから自由に選択して受講できる制度です。

3. 開講日及びプログラム名及び内容

※日程や内容が変更になる場合があります。

開講日	プログラム名	内容
10月3日(土)	Power Apps によるアプリ開発	ローコードツール活用による業務効率化・業務改善（RPA による日常業務の作業自動化、アプリ開発、データの可視化）の手法を学びます。地域企業の実態に即した DX コンサルティングノウハウを持つ株式会社 YMFG グロスパートナーズの外部講師を活用し、受講者が自社に持ち帰り、実務において実践できる力を身につけます。
	Power Automate によるプロセス自動化	
10月10日(土)	Power BI によるデータ可視化①	DX の推進やデータ活用を進める上で必要となる情報システムの基礎知識を学びます。企業で利用される情報システムやネットワークの仕組みを理解するとともに、データベースや API 連携、Web アプリケーションがどのようにデータを収集・蓄積・活用しているのかを、実際のシステム構築演習を通じて体験的に学習します。これにより、業務部門の担当者としてシステム導入や業務改善を検討する際に必要な知識を身につけ、IT ベンダーや情報システム部門との円滑なコミュニケーションができる力を養います。
	Power BI によるデータ可視化②	
10月17日(土)	ネットワークと情報システム①	また、サイバー攻撃の事例や対策を学ぶことで、情報セキュリティに関するリスクへの理解を深め、安全なシステム利用や運用に必要な視点を身につけます。さらに、生成 AI や AI エージェントの活用を体験し、最新のデジタル技術が業務効率化や意思決定支援にどのように活用できるのかを学びます。
	ネットワークと情報システム②	
10月31日(土)	データベースシステムの構築	講義を通じて、DX やデータ活用を「利用者」として理解するだけでなく、自社の業務課題を発見し、デジタル技術を活用した改善提案につなげるための実践的な知識を習得します。
	API の利用	
11月7日(土)	Web アプリとデータベース①	データや根拠に基づく考え方は、社会や人間に関する事象を客観的に理解し、課題を適切に捉えるための基礎となります。担当回では、変数や基本統計量、Evidence-Based Practice（根拠に基づく実践）、社会調査に関する基本的な考え方を解説します。さらに、データや情報を適切に読み取り、社会や現場における身近な課題を論理的
	Web アプリとデータベース②	
11月14日(土)	脆弱性攻撃	データや根拠に基づく考え方は、社会や人間に関する事象を客観的に理解し、課題を適切に捉えるための基礎となります。担当回では、変数や基本統計量、Evidence-Based Practice（根拠に基づく実践）、社会調査に関する基本的な考え方を解説します。さらに、データや情報を適切に読み取り、社会や現場における身近な課題を論理的
	攻撃への対策	
11月22日(日)	生成 AI とプログラミング	データや根拠に基づく考え方は、社会や人間に関する事象を客観的に理解し、課題を適切に捉えるための基礎となります。担当回では、変数や基本統計量、Evidence-Based Practice（根拠に基づく実践）、社会調査に関する基本的な考え方を解説します。さらに、データや情報を適切に読み取り、社会や現場における身近な課題を論理的
	変数とは何か①	
11月28日(土)	変数とは何か②	データや根拠に基づく考え方は、社会や人間に関する事象を客観的に理解し、課題を適切に捉えるための基礎となります。担当回では、変数や基本統計量、Evidence-Based Practice（根拠に基づく実践）、社会調査に関する基本的な考え方を解説します。さらに、データや情報を適切に読み取り、社会や現場における身近な課題を論理的
	基本統計量①	
12月5日(土)	基本統計量②	データや根拠に基づく考え方は、社会や人間に関する事象を客観的に理解し、課題を適切に捉えるための基礎となります。担当回では、変数や基本統計量、Evidence-Based Practice（根拠に基づく実践）、社会調査に関する基本的な考え方を解説します。さらに、データや情報を適切に読み取り、社会や現場における身近な課題を論理的
	Evidence based Practice①	
12月12日(土)	Evidence based Practice②	データや根拠に基づく考え方は、社会や人間に関する事象を客観的に理解し、課題を適切に捉えるための基礎となります。担当回では、変数や基本統計量、Evidence-Based Practice（根拠に基づく実践）、社会調査に関する基本的な考え方を解説します。さらに、データや情報を適切に読み取り、社会や現場における身近な課題を論理的
	Evidence based Practice③	

12月20日(日)	社会調査とは①	に考えるための基礎的な知識の習得を目指します。
	社会調査とは②	
12月26日(土)	数理計画法と意思決定問題	数理計画法は、限られた条件で良い選択を行うための数学的手法です。我々の身近にある問題は、この数理計画法で解決可能なものがあります。この授業では、線形計画法、整数計画法、非線形計画法などの数理計画法を学び、身近な問題の解決に取り組みます。
	線形計画法①	
1月9日(土)	線形計画法②	
	線形計画法③	
1月30日(土)	線形計画法④	
	整数計画法①	
2月7日(日)	整数計画法②	
	非線形計画法①	
2月13日(土)	非線形計画法②	
	PBL ①	
2月21日(日)	PBL ②	PBL（課題解決型学習）：これまでに得られた知識やスキルを活用し、課題の原因を分析し、解決するための提案を行うことを目指した演習です。 分析するデータを PBL 学習の時に集めてもらい、そのデータを分析して最終レポートを書いて発表してもらいます。
	PBL ③	
2月27日(土)	PBL ④	
	PBL ⑤	
3月6日(土)	PBL ⑥	
	PBL ⑦	
3月13日(土)	発表会	
	発表会	

※出席できない場合には、後日録画で聴講することができます。

4. 受講料（総時間）

受講区分	総時間／（コマ）	受講料
履修生	60 時間／40 コマ	60,000 円
聴講生	—	1 講義（90 分）あたり 1,500 円

5. 場所

下関市立大学 D 棟（データサイエンス）（下関市大学町二丁目 1-1）

6. 申込期間

2026 年 7 月 27 日(月)～2026 年 9 月 11 日(金) *** 正午必着**

7. 申込方法

- ① 本学ホームページから該当の様式をダウンロードし、紙媒体にて提出してください。
- ② 提出の際には、封筒の表に「下関市立大学附属リカレント教育センター受講申込書類 在中」と**朱書き**し、下記の書類送付先まで**簡易書留**にて送付してください。

【書類送付先】：下関市立大学附属リカレント教育センター

〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号

提出する書類は「受講区分」及び「履修資格」の有無によって異なりますので、次ページの表で確認し
たうえで過不足なくご準備ください。

提出書類	内容	受講区分	
		履修生	聴講生
様式第1号 -ア	「履修生」としての受講申込書です。	○	×
様式第1号 -イ	「聴講生」としての受講申込書です。	×	○
様式第2号	受講希望講義を記入します。申込時に希望した講義しか受講ができませんのでご注意ください。	×	○
最終学歴証明書 ※2	【2. 履修資格】を満たすことを証明するための書類として、最終出身学校の卒業もしくは修了を証明する書類を添付してください。	○	×

※2 最終学歴証明書に記載の氏名と現在の氏名が異なる場合、旧姓を確認できる書類を添付してください。

8. 選抜方法及び結果通知（履修生のみ）

書類選考の上、通知書を郵送します。

9. 手続き

- ① 受講生には、受講料納付書類を送付します。同封の案内に従って**納付書に記載**された受講料を**期日までに納付**してください。
- ② 期日内に受講料の納付が確認された方にのみ受講を許可し、受講案内等を送付します。

10. 注意事項

- いったん受理した書類及び納入された受講料については、受講生の自己都合による返却及び返金はできません。なお、やむを得ない事情により開講できない場合に限り、受講料の返金を行うことがあります。
- 提出書類に虚偽の記載があった場合、受講の資格を失います。なお、書類不備の場合は受付できません。
- 講義で使用するソフトウェアについては、オンライン受講の方およびPCを持参される方は、事前のインストールをお願いいたします。

- ・ Excel
- ・ Anaconda (<https://www.anaconda.com/download>)
- ・ Google Chrome
- ・ Google colab (<https://colab.research.google.com/?hl=ja>)
- ・ XAMPP (<https://www.apachefriends.org/jp/index.html>)
- ・ Google Antigravity IDE (<https://antigravity.google/product/antigravity-ide>)

※Google Antigravity 2.0 や Google Antigravity CLI ではないのでご注意ください。

(※Google colab はインストール不要ですが、を利用するためには、Google のアカウントが必要になりますのでお持ちでない方は準備をお願いします。)

- ・ バージョン：すべてインストール時点での最新版
- ・ 必要なパソコンのスペック

CPU→コア数が 8 以上

メモリ→16GB 以上

SSD→50GB 以上の空き容量

11. その他

- 対面とオンライン同時双方向でのハイブリッド型授業では **Microsoft®の Teams** を使用します。
- 駐車場の台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用してください。自家用車で
の通学をご希望の方は、受講申込時に申請することで、受講期間にのみ使用可能な駐車許可証を発
行します。

<お問い合わせ・書類送付先>

下関市立大学附属リカレント教育センター

〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目 1 番 1 号

TEL 083-250-6162 / FAX 083-250-6163 (月～金：9:00～17:00)

E-mail recurrent@shimonoseki-cu.ac.jp